



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が5月2日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、5月13日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィ、新メンバー2名をエグゼクティブ・コミッティに加え、 新コマーシャル部門を指揮

フランス、パリー2013年5月2日ーサノフィ(EURONEXT:SANおよびNYSE:SNY)は、本日、優先課題の実現を目的とした新コマーシャル部門の発足を発表しました。サノフィは、これまでの4年間、事業多角化の中で、患者さんのニーズにフォーカスした総合的なグローバル・ヘルスケアリーダーとなるために、社内組織の大規模な改革を進めてきました。以前発表したグローバル・オペレーション担当プレジデントのハンスペーター・スペックの退任を受け、2013年7月1日付で新部門が発足し、後任が就任します。

従来のグローバル・オペレーションに代わり、「グローバル・コマーシャル・オペレーション」と「グローバル・ディビジョン&ストラテジック・コマーシャル・ディベロップメント」という2つの部署が新設されます。現在サノフィ欧州担当シニア・バイスプレジデントを務めるピーター・ギュンター(Peter Guenter)がグローバル・コマーシャル・オペレーション担当エグゼクティブ・バイスプレジデントに就任します。また、現在GEヘルスケアのメディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)事業担当プレジデント兼最高経営責任者(CEO)を務めるパスカル・ヴィッツ(Pascale Witz)が新たにサノフィに加わり、グローバル・ディビジョン&ストラテジック・コマーシャル・ディベロップメント担当エグゼクティブ・バイスプレジデントに就任します。ピーター・ギュンターとパスカル・ヴィッツはともに、エグゼクティブ・コミッティのメンバーに就任します。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のクリストファー・A・ヴィーバッハーは、「今回の2名の新リーダーの任命によって、成長基盤が強化され、新製品の成功が確実なものとなり、サノフィに持続可能な成長がもたらされるでしょう。ピーター・ギュンターはこれまでコマーシャルの分野で大きな目標を達成してきた素晴らしい実績を持つリーダーです。彼は、直近の欧州での経験によって、急激な進展を見せるヘルスケア業界において成長を推進する能力を身につけました。また、パスカル・ヴィッツのヘルスケア分野での幅広い経験とコマーシャル分野の鋭い専門知識と経験は、サノフィにとって強力な武器となるでしょう。診断と医療技術に関する彼女の専門性によって、総合的なグローバル・ヘルスケアリーダーとしてのサノフィの使命は一層強化されると確信しています」と述べています。

グローバル・コマーシャル・オペレーション担当エグゼクティブ・バイスプレジデントに任命されたピーター・ギュンターは、北米、ラテンアメリカ、欧州、アジア、ジャパニ&パシフィック、およびインターコンチネンタルという多様な地域におけるマーケットでの任務遂行に注力します。新たなコマーシャル・オペレーション部門の発足とピーター・ギュンターの就任により、各地域が成長基盤に注力し、患者さんのニーズを満たす革新的なソリューションを提供していくことを目指します。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

www.sanofi.co.jp



グローバル・ディビジョン&ストラテジック・コマーシャル・ディベロップメント担当エグゼクティブ・バイスプレジデントに任命されたパスカル・ヴィッツは、戦略の方向性を定め、グループの主要事業の製品開発を指揮します。パスカル・ヴィッツは、糖尿病、オンコロジー、ファーマシューティカル・カスタマーソリューションの各部門とコンシューマー・ヘルスケアに関する新組織を統括します。パスカル・ヴィッツは、サノフィの優先課題であるイノベーションの継続と製品ポートフォリオの更なる充実を目指して、研究開発チームと緊密な連携を図りながら、新製品のプロフィールを決定し、製品の発売に向けた準備を円滑に導きます。「*Beyond the Pill*」戦略の一部である新たな総合的ヘルス・ソリューションは、パスカル・ヴィッツが率いるこの新組織の指揮のもとで実施されます。

ピーター・ギュンターの経歴

ピーター・ギュンターは、2011年7月に現職のサノフィ欧州担当シニア・バイスプレジデントに就任し、30カ国超のサノフィの現地法人を指揮しています。管轄する法人全体の売上高は70億ユーロを超え、9千人以上の従業員を抱えています。ピーター・ギュンターは過去2年間、欧州でのサノフィの改革を成功に導く上で重要な役割を果たしました。製薬業界で25年以上のキャリアを持ち、先進国での戦略に対する鋭い眼識と強力な指導力によって、多様で困難なマクロ経済環境での事業を推進する卓越したリーダーです。

ピーター・ギュンターは、1995年にサノフィ・グループに入社し、ベルギー、フランス、欧州およびグローバル・マーケティングで様々な職を経験しています。特に、グローバル・マーケティングを担当した際は、Stilnox/Ambienの世界的成功とAmbien CRの開発推進において重要な役割を担いました。2000年にはベルギーのジェネラルマネジャーに任命されました。その後も速いスピードで昇進を続け、欧州で要職を歴任し、東欧担当バイスプレジデントに就任しました。その間、2004年5月の欧州連合(EU)への10カ国加盟の際にはEU統合プロセスの監視に関わりました。アベンティス買収後の2005年、ピーター・ギュンターは北欧担当バイスプレジデントに任命され、10カ国におけるサノフィとアベンティスの統合プロセスを指揮しました。2008年、ドイツのコマーシャル・オペレーション担当ジェネラルマネジャーに任命され、プラビックスとタキソテールの特許喪失を予期し、グループ内の関連組織の改革に取り組みました。2011年初めには、ドイツ、オーストリア、スイスにわたる多国間組織のトップを務め、その後2011年7月に欧州担当シニア・バイスプレジデントに就任しました。

ピーター・ギュンターは、1986年スミスクラインの営業担当者としてキャリアをスタートし、チバガイギーやパーク・デービスで数々のマーケティング職を経験しました。その後、1995年にサノフィのベルギー法人の中樞神経系/泌尿器事業部門のディレクターとしてサノフィに入社しました。

ピーター・ギュンターはベルギー人で、ベルギーのアントワープ大学医学・健康科学部で体育学の修士号を取得しています。また、オランダ語、ドイツ語、英語とフランス語を流暢に話します。

パスカル・ヴィッツの経歴

パスカル・ヴィッツは2009年からGEヘルスケアのメディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)事業担当プレジデント兼最高経営責任者(CEO)を務めています。英国に本社を置くGEヘルスケアのメディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)事業は、疾病の早期発見、診断および管理のために医師が用いている診断薬と分子診断の分野におけるリーダーで、事業規模は20億ドル強に上ります。

パスカル・ヴィッツは研究所でキャリアをスタートし、1991年フランスのベクトン・ディッキンソンでマーケティングを担当しました。その後1996年にGEヘルスケアに入社し、フランスの血管撮影装置事業でプロダクトマネジャーを務めます。GEでは順調に昇進を果たし、欧州、アフリカ、中東、米国とグローバルに活躍しながら数々



の事業を指揮してきました。メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)事業担当プレジデント兼 CEO 就任前には、2008年から2009年にかけて、フランスと米国でグローバル・インターベンション事業のバイスプレジデント兼ジェネラルマネジャーを務めました。

その他にも、パスカル・ヴィッツは GE ヘルスケアで以下をはじめとして数々の要職を歴任しています。CT(コンピュータ断層撮影装置)事業のジェネラルマネジャー(2006-2007)、セールス&マーケティングサービスのバイスプレジデント(2005-2006)、NM(核医学診断装置)および PET(陽電子放射断層撮影装置)事業のジェネラルマネジャー(2002-2004)、IT 事業のバイスプレジデントおよびシックスシグマ&クオリティのバイスプレジデント(2000-2001)。

パスカル・ヴィッツはフランス人で、国立応用科学院リヨン校でライフサイエンス/分子生物学の修士号を取得し、ビジネススクールの INSEAD で MBA も取得しています。

以上

サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において7つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、およびジェンザイム社です。サノフィは、パリ(EURONEXT: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2012年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。



サノフィ エグゼクティブ・コミッティ(2013年7月1日付)



クリストファー・A・ヴィーバッハー (Christopher A. Viehbacher)

- 最高経営責任者 (CEO)
- ジェンザイム会長



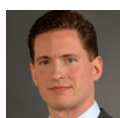
オリビエ・シャーマイユ (Olivier Charmeil)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- ワクチン担当エグゼクティブ・バイスプレジデント



ジェローム・コンタミーヌ (Jérôme Contamine)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高財務責任者 (CFO)



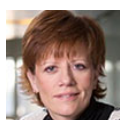
デビッド・アレクサンドル・グロス (David-Alexandre Gros)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高戦略責任者 (CSO)



ピーター・ギュンター (Peter Guenter)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- グローバル・コマーシャル・オペレーション担当エグゼクティブ・バイスプレジデント



カレン・リネハン (Karen Linehan)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- 法務担当エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルカウンセル



フィリップ・リュスカン (Philippe Luscan)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- 生産担当エグゼクティブ・バイスプレジデント



ロベルト・プッチ (Roberto Pucci)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- 人事担当エグゼクティブ・バイスプレジデント



パスカル・ヴィッツ (Pascale Witz)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- グローバル・ディビジョン&ストラテジック・コマーシャル・ディベロップメント担当
エグゼクティブ・バイスプレジデント



エリアス・ザフーニ (Elias Zerhouni、医学博士)

- エグゼクティブ・コミッティおよびグローバル・リーダーシップ・チームメンバー
- グローバル研究開発担当プレジデント